

7月20日(水)、21日(木)にベトナム・ホーチミン市バイオテクノロジーセンター(HCMC BC)において、HCMC BC および遺伝子実験センター形質転換植物デザイン研究拠点の合同ワークショップ「Precision Biotechnology Applications」を開催いたしました。ワークショップでは、現地における研究能力強化のための新技術理解とバイオテク植物の管理推進を目的としました。講演内容としては、まず、バイオテク植物とその商業化の状況とともにその規制動向について紹介しました。また近年、技術開発が進む新たな育種技術の紹介と、その中でも特に目覚ましく研究が進められているゲノム編集技術に関する最新の研究動向について紹介しました。さらに、オミックス解析の一分野であり、植物を含む生物の全代謝産物を同定・定量を目的とするメタボロミクス研究について紹介しました。

筑波大学からは講師として当拠点の渡邊和男教授、柴博史教授および草野都教授、支援者としてホーチミン事務所のPhuong氏が参加しました。また、HCMC BCからは78名、ホーチミン市内に拠点があるベトナム熱帯生物学研究所(Institute of Tropical Biology)からは12名、計94名の参加がありました。

写真は、ワークショップ後の記念撮影の様子です。

